



津市一身田町2843
高田中・高等学校内
樹心同窓会事務局
電話059-232-2442



独自性と
公共性
同窓会会長
佐脇 功

会員の皆様には、ますますご健勝のことと存しお慶び申し上げます。県内は勿論のこと、各地各界で多くの会員が活躍されていること、心から敬意を表明いたします。日頃から同窓会運営並びに母校の発展のために格別のご理解ご支援を



学苑近況
学苑長
田中 和麿

皆さんご機嫌いかがですか。お変わりなくご活躍のこととお慶び申し上げます。

中学校校舎改築工事も、平成十六年十月に仮設校舎建設に取りかかって、約三ヶ年を経て、第一期工事、第二期工事と建設が進み、今年十九年三月から第三期工事にとりかかりました。完成は来年八月三十一日を予定しており、これをもって中学校改築は全部終了となります。今ここで工事概要をまとめてみますと、第一期工事は十七年四月から

賜り厚くお礼申し上げます。

母校の近況は、田中和麿学苑長はじめ先生方から案内されていますように、中・高校の校舎改築工事が本年度も施行されています。短大・高校ともに進路実績と部活動の成果は目覚ましい状況です。誠に喜ばしく嬉しい次第です。先生方のご指導に厚くお礼申し上げます。

近年、社会の状況は殺人等の凶悪犯罪、官製談合等の反社会的行為、公共交通機関(鉄道会社等)の重大事故、公共性が義務付けられている電力会社の長年のデータ改ざん、極め

て少数、稀ではあるが政治家・公務員・警察官・教育者・宗教者の常識を逸脱した非社会的事件等に枚挙に暇がないような嘆かわしいことが報道されています。

現在の日本社会の乱れは宗教心の欠如であり宗教者にも責任があると卒業式で御法主様下からお言葉がありました。天台座主半田孝淳様も現代社会の混乱は戦後、日本人の精神的支柱だった宗教を軽視し、経済的繁栄のみを価値基準にしたことが一因であり、宗教者として看過できないと言われています。高田学苑で学んだ同窓生は少なからず宗教心を持っている筈です。

先般の学習指導要領における必修教科目の未履修問題で心配や憤りを持たれた同窓会員がおられたことと存じます。学校当局の懸命なご努力と生徒諸君、保護者の皆様の理解により問題解決を終え、関係機関、関係者、地域社会からも信頼を得られ

始まり十八年四月に完成し、五階建て校舎三階建て体育館のピカピカの新校舎にはピカピカの新生入生たちが涸刺と校内に溢れ返っています。続いて、第一期工事完成と同時に、十八年四月から第二期工事に取りかかり、本年十九年三月に三号館が完成しました。

この三号館は一部五階建て天台観測室(ドーム)四階はプラネタリウム、化学室、理科倉庫。三階は物理教室、生物教室、準備室等で、二階は進路指導室、被服室、国際交流室、学生ホール、談話コーナー、一階は礼拝堂、ホール、図書館、茶室等であります。

西館、礼拝堂を取り壊しましたが、特に礼拝堂は明治三十二年、現在地に新築された、真宗勸学院の講堂であり、現在まで百七十年を経た学苑の歴史そのものといふべき建物であります。そのままとこわしてしまふべきものではなく、「勸学堂」の扁額は新装になって正面玄関に掲げました。また、門の柱、虹梁・龍・象や唐獅子などの彫刻は、モニユメントとして礼拝堂の入り口に移築しました。

以上第二期建築工事は、本年三月完成し、この四月より、二百名収容の図書館には、勉学読書コーナーもたつぶりあり、読書好きな生徒達が毎日嬉々として読書に励んでいます。また第三期工事では、学生ホール、五号館、四号館、三号館、一、二号館、各館を連結し特に五号館にはエレベータ(二十七人乗り)をつけ、先生も生徒も利用できるようにしたいと思っています。各館をつなぐと同時に学生ホールに自動販売機を置

たことを学校から承りました。昨年度の教育成果は上上の模様です。学校法人、私立学校は私立学校法

で独自性が保障されているとともに公共性が義務化されています。独自性を十分に発揮するとともに公共性の重要な使命を担っているという公共性を重要視していただきたい。建学の精神「仏教精神を基として宗教的情操を培い、人間性豊かな社会人を育成する」に則り、学苑経営・学校運営に精進されますようお願いいたしますとともに同窓会員は建学の精神を今一度、思い起こして社会に貢献できるように励みたいものです。同窓会は、会員相互の親睦、情報の共有、母校への支援を目標とし、同窓会の発展を願って活動を続ける所存です。今後とも一層のご理解ご支援をお願い申し上げます。

同窓会総会には、お誘い合せて大勢の会員が参加されますよう願いたします。

特に今年完成された三号館の天体観測室とプラネタリウムの二つの施設については、全国のだこの中高にもない施設であると言われています。

高校の進学成績についても抜群で県下一といわれており、その詳細については進路指導室からの進路状況報告をご覧ください。是非、同窓会総会にはご出席をお願いいたします。



勸学堂集合写真

平成19年度
高田学苑樹心同窓会総会
 平成19年8月5日(日) AM10:00~
 追 甲 会 高田高校本館講堂(5F)
 総 会 会 同 上
 ミニコンサート 小野寺 里織、オサム
 懇 親 会 総会終了後本館会議室(3F)
 会費、1,000円当日本館1F受付で頂きます。
 お車でお越しの方は職員駐車場をご利用ください。



ご挨拶

中高校長
高臣 文祥

樹心同窓会の会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。同窓の皆様が、多方面の分野で立派な活躍をしておられることによりまして、学苑が今日の隆盛を迎えているのだと感謝する次第です。

私は、今年の四月から高田中等高等学校の校長に任せられました。伝統ある高田学苑が今日まで築いてきた輝かしい業績を損なうことなく、さらに発展させたいという思いで毎日校務に取り組んでおります。

思い起こせば、私は、在職中に、真弓先生、八木先生、大西先生、畠山先生、そして現在の田中先生と五人の学苑長の下で仕事をさせてもらいました。田中先生の他はずでのご逝去になられました。私は、これ

らの諸先生方から多くのことを学ばせていただきました。特に、私学においては、自校の教育方針に揺るぎない信念を持つていなければならぬ。また、学校経営の感覚を常に念頭に置いて事にあたらなければならぬということ。いずれも当然のこと、今更何を思われるかも知れませんが、私は、今あらためて肝に銘じているところです。

さて、昨年は、十七年度に三年計画で立ち上げた校舎建設事業が着々と進行し、進学の面におきましても大変立派な成績をあげ、まさに順風満帆と言った状況の中で未履修問題が勃発し、後半の五ヶ月間は大変難儀な経験をしました。まさに受験の仕上げの段階で補習を実施したり、卒業式も二度行うなど苦労の多かった年でありました。同窓の皆様にも何かと心配をおかけしたと思

います。この事態に直面して生徒の皆さんがよくこれに耐え頑張ってくれたことと保護者の方々も冷静に事態に対応していただいたお陰をもち

まして何とか難局を乗り切ることができました。本当に生徒の皆さんがよくやってくれたという思いでいっぱい。この度の経験を無駄にせぬように今後しっかりと取り組む覚悟であります。

本校の現況をご報告します。十九年度の進学状況について、四年生の国公立大学へは六年制で百七十二名、三年制で二十九名、全体で二百一名の合格者でありました。その中でも特筆すべきは、六年制において東京大学に十五名が合格し、そのなかで六年ぶりに理三に合格者を出したことが、三重大学医学部十六名を始めとして国公立の医学部に四十名が合格したことがあげられます。三年制においては、本校三年制において初めて京都大学への合格者を出したことであります。詳しくは進路指導部からの報告をご覧ください。

入学者の状況につきまして、本年は、高校生四百十一名、中学生二百三十名の新入生を迎え、在籍生徒数の合計が二千四百四十四名という大

ます。また、二年生は就職のために進路課で真剣に資料を検索したり、ゼミの指導教官へ相談に訪れている姿をよく目にします。 本学は、子ども学科、人間介護福祉学科、オフィス情報学科の三学科の一学年二百五十名の短期大学です。平成十八年四月からスタート致しました人間介護福祉学科も二年生がそろい、いよいよ設置完成年度を迎えることが出来ました。少子高齢化が進行する地域社会、また景気の回復がいわれる企業社会の中で本学卒業生に対する期待は益々と増していくことを感じさせられます。



短期大学の近況報告

短大校長
村澤 忠司

樹心同窓会の会員の皆様には、お変わりもなく、益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。

新緑に囲まれました短期大学の校庭にも、心地よい緊張感が感じられる季節となりました。新入生も本学に慣れ、新しい友と共に個性のある大学生活を始める様子が見受けられ

所帯となっております。その内訳は高校三年制が千二百十六名、六年制中・高合わせて千二百二十八名で現在では、三年制と六年制の生徒数が相半ばし、三年制と六年制が車の両輪として学校が運営されています。

尚、平成九年から実施してきました六年制への編入制度は、これまで着実に実績を上げてきましたが、学年五クラス体制を実施して四年目を迎え、少人数の指導にかかる人的・物的な負担と在校生への指導の充実という問題について慎重に検討してきた結果、平成二十年度からは募集を行わないことにしました。

本校では、部活動などの学校生活において三年制、六年制の生徒達が互いに相和して活動しています。これは本校の教育の成果であり評価される所であると考えております。

ちなみに、部活動には、中学の約九十一パーセントにあたる五百八十三名が、高校生の五十八パーセントにあたる千五十三名（六年制高等部の二百五十九名を含む）が何らかの

することになり、その後任として「是非もう一度、高田の学生を採用したい」と企業から申し出があると就職担当の教員から報告を受けることも二度や三度ではありません。また、来年の三月に第一回の卒業生を送り出す予定の人間介護福祉学科の卒業予定の学生にも地元福祉施設からの求人依頼や問い合わせが多数きていますことも強く思います。

本学の責任者の一人として学生の進路指導にどう手がけていくべきなのか自問自答しながらの対応でありますが、卒業生の皆様から得る情報や感覚は新鮮であり貴重なものです。

受け入れ先である地元企業や施設は学生に何を期待しているのか、また本学と社会の接点に立たされている学生が何を感ず何を悩むのかを理解する上で、また、今後の本学の教育を充実させていく上で、卒業生の皆様方のご活躍やその動向は本学の教育指導のあり方に対して大きな意味を持っています。

今年度は、校舎設計計画の最終段階として4号館の建設に着手し、五月二十三日には起工式を執り行いました。4号館には、保健室、調理室、美術室、音楽室、コンピュータ教室、L.L教室、視聴覚教室などが整えられ、来年三月には完成の予定です。その後周辺の整備に数ヶ月を要しますが、これをもって一大建設事業が完了します。

建物は大きく変容を遂げますが学苑に流れる精神は不変です。今後とも同窓の皆様が高田中・高等学校を温かく見守っていただくと共にご支援いただきますことを切にお願い申し上げます。

最近の高等教育に対する使命として、教育・研究に励むことは勿論のこと、新たに地域社会へ如何に貢献するかが問われるようになってきています。大学、特に短期大学は地域の発展と共にあり、地元住民との協

するところとなり、その後任として「是非もう一度、高田の学生を採用したい」と企業から申し出があると就職担当の教員から報告を受けることも二度や三度ではありません。また、来年の三月に第一回の卒業生を送り出す予定の人間介護福祉学科の卒業予定の学生にも地元福祉施設からの求人依頼や問い合わせが多数きていますことも強く思います。

本学の責任者の一人として学生の進路指導にどう手がけていくべきなのか自問自答しながらの対応でありますが、卒業生の皆様から得る情報や感覚は新鮮であり貴重なものです。

受け入れ先である地元企業や施設は学生に何を期待しているのか、また本学と社会の接点に立たされている学生が何を感ず何を悩むのかを理解する上で、また、今後の本学の教育を充実させていく上で、卒業生の皆様方のご活躍やその動向は本学の教育指導のあり方に対して大きな意味を持っています。

働の中心的な活動をすることが、大
学評価に大きな比重を占めると言わ
れています。国の方針も、特色ある
教育研究や地域の諸問題を解決する
ために地域住民と大学が共同で取り
組むことを大いに奨励しています。
本学も、地域の発展に少しでも貢献
でき、また、そのことが優秀な人材
を地元へ送り出せる教育に結びつけ
て行かなければなりません。幸いに、
高田学苑の卒業生が各界の多方面で
活躍していることから、皆様方
のその成果やご助力が本学の教育研
究と結び付き、地域社会での本学の
発展と充実に大きく貢献して頂いて
います。まさに、本学は、今後、
地域の福祉への貢献と地元中小企業
の人材育成に努めていきたく思っ
ています。また、卒業生の皆様のご子
弟やご近所のお知り合いの中で高田
短期大学への教育活動に一層ご理解
頂けますように切にお願い申し上げます。

今年の四月には、新入生として三
学科合わせて二百五十二名の学生が
高田短期大学の門をくぐりました。
地元出身の多くの学生が入学してき
たことから、地域に開かれた
大学として益々その期待に応えて行
かなければなりません。一方、急速
な少子高齢化による大きな社会の転
換期にさしかかる状況の中で本学の
運営上で避けて通れない問題も山積
しています。しかし、本学は地域の
方々へのきめ細かい対応に徹し、地
域の人々に愛され、期待される短期
大学として充実に努めていきたく思
っています。

平成18年度高田学苑樹心同窓会決算報告書

収支決算書 (H18.4.1 ~ H19.3.31) (円)

項目	金額
収入の部	
前年度繰越金	3,466,277
株式配当金(中部電力)	452,818
株式配当金(みずほホールディングス)	14,077
総会費	90,000
同窓会入会金(高校) 587名×3500円	2,054,500
同窓会入会金(短大) 174名×3500円	609,000
卒業生簡手料	15,872
購買部より補助金	300,000
預金利息	1,047
収入合計	7,003,591
支出の部	
総会費	383,172
役員会費	123,125
会報印刷費	307,768
会報発送費	234,613
通信費	39,728
慶弔費	73,000
卒業記念品費(高校)	220,500
卒業記念品(短大)	71,166
同窓会教職員歓迎迎会補助金	200,000
短大部会補助金	9,200
個人情報委託手数料	315,000
事務消耗品	43,222
雑費(原稿寄稿お礼図書券)	1,000
定期預金へ	300,000
支出合計	2,321,494
次年度繰越金	4,682,097

財産目録 (H19.3.31現在) (円)

項目	金額
基本財産	
同窓会館建設基金	11,889,442
百五銀行定期預金	5,485,489
百五銀行定期預金	2,004,808
株券 中部電力(8,115株)	
株券 みずほホールディングス(3,917株)	
運用財産	
百五銀行普通預金	4,682,097

新任教職員紹介

- 一、氏名
- 二、担当教科
- 三、担当部活動
- 四、趣味・特技
- 五、着任のことは

中・高等学校

- 一、宇仁田慎司
- 二、地歴公民科
- 三、高校卓球部
- 四、読書、映画鑑賞
- 五、本年度より、母校である本学苑

でお世話になることができ、大変
嬉しく思っております。在学中に
お世話になった先生方と同じ教壇
に立たせて頂くことができ、毎日
身の引き締まる思いでいっぱい
です。教師として学苑に携わって
いることをとても誇りに思っ
ています。

授業・クラブ活動や日常生活を
学生たちとともに学べることに感
謝し、これからも学び続ける姿勢
を大切にして、日々努力を重ねて
まいります。
今後ともご指導の程、よろしく
お願い申し上げます。

一、若林 広繁
二、英語
三、サッカー部
四、映画、旅行、音楽
五、本年四月より母校である本学苑
で教壇に立たせて頂くこととなり
大変光栄に思っております。こと
わざ「ローマは一日にして成ら
ず」とありますが、日々築かれて
きた伝統ある高田学苑の教育方針
をしっかりと受け継いで、生徒と
共に明るく元気に！をモットーに
して成長していきたいと考えてお
ります。

一、梅村 俊也
二、数学
三、中学卓球、数研
四、釣り、ゴルフ
五、本年度より伝統ある本学苑で教
壇を執らせて頂くこととなり、大
変嬉しく光栄に思っております。

一、齋木 啓
二、数学
三、中学野球部
四、音楽、洋画鑑賞
五、本年度から母校である高田学苑
で、教壇を執らせて頂くことにな
り大変嬉しく幸せに思っております。
毎日、多くの生徒と接し授業・
部活動共に奮闘しております。し
かし、自分自身の未熟さを痛感す
る日々でもございます。

一、北 圭一郎
二、理科
さいわい、着任して早や二ヶ月
が過ぎようとしておりますが、諸
先生方の温かいご指導を賜わりな
がら、充実した教員生活をスター
トさせていただいております。ま
だ至らぬ点多々ありますので、
今後学苑関係者の方々のより一層
のご指導を賜わりますようよろし
くお願い致します。

四月にこの学苑に着任して以
来、多くの諸先輩の先生方より非
常に親切で温かいご指導を頂いて
おり日々感謝するとともに、本学
苑の素晴らしさを感じておりま
す。
現在は生徒の幸せの為に自分が

一、河北 智子
二、国語
この高田学苑にいらっしやる先
生方のような、すばらしい教師に
なるために日々努力していきたい
と思っておりますので、御指導の
程よろしくお願い致します。

三、放送部
四、音楽 (伝統芸能鑑賞)
五、本年度から母校である本学苑でお世話になることができ、大変嬉しく感謝いたしております。

昨年、教育実習でお世話になった時より、生徒主体の授業を目指して努力しております。授業中、決して受け身ではなく、各々脳に汗をかくりたいと考えて考え抜いてほしい。そうすることで、国語の力はもろろん、人の気持ちも思いやる想像力や、何事も短絡的に答えを出さず、まず熟考する習慣が身に付くと考えております。そのため、生徒の知的好奇心を刺激する授業を行って参りたいと思っております。今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。

一、田辺 亜里沙

二、国語

三、高校陸上部

四、映画鑑賞、ヒリヤード

五、本年度より、母校である本学苑で教鞭を執らせて頂くことになり、大変嬉しく感謝しております。

着任して二カ月足らず、多忙な中にも教職員の皆様、そして生徒の笑顔に包まれ、楽しく新鮮な毎日を送っております。しかし、自らの未熟さと勉強不足を身に染みて感じており、日々努力精進していきたく思っております。

まだまだ教師として至らない点多々ありますが、精一杯努力していきますので、今後ともご指導の程宜しくお願致します。

一、青木 貴子

二、家庭科

四、風景写真、旅行、登山

五、この度、伝統ある本学苑との御縁を頂戴できましたこと、大変嬉しく光栄に存じます。

昨年春、夫の転勤に伴い、それまで勤めていた学園を退職して、東京からこちらに越して来ました。新しい環境の中、忙しくも楽しい、且つ緊張感に満ちた充実した日々を送ることが出来、本学苑と教職員の皆様に心より御礼申し上げます。常に勉強と思いい、何事も努力して参りたいと存じますので、今後とも御指導の程宜しくお願致します。

一、草深 克己

二、社会

四、旅、音楽、野球

五、歴史と伝統ある高田学苑で心豊かに日々、思いを深めています。建築技術の粋を尽し、目を見張るばかりの斬新なる校舎、施設等々一人のものがありません。親鸞聖人の御教えのもと、情操教育も浸透し教育の大切さを覚えます。個々の能力を引出し、異なる一人ひとりの力を伸ばす、そんな自然たるべきことの必要且つ重要性をかみしめています。そして、心が身体を動かすの如く、如何にその思いが、その意気込みが行動(学習)につながるかを学び、人は気を出しそしてその気をなくしてはなりません。気は行動の源ですから、心(気)を積極的に働かせ、意気揚揚と更なる道にチャレンジしたいものです。どうぞよろしくお願致します。

一、細川 稔

二、教務

四、旅行、写真、尺八、卓球

五、歴史と伝統のある本校にお世話になり、大変光栄に思っております。

長年いろいろな学校に勤めてまいりましたが、いよいよ最後の学校というところで、更にベストを尽くしたいと思っております。私の今の Motto は Still Better Tomorrow (明日はもっと良くなる) ですが、この Motto の下、日々努力をして高田学苑に少しでもお役に立てればと願っております。どうかよろしくお願致します。

一、服部 謙秀

二、事務部会計課

三、なし

四、音楽鑑賞

五、本年度より、母校である高田学苑で事務職員としてお世話になることになりました。中学高校の思い出の場所、そしてお世話になった方々と共に働かせて頂いていることを大変嬉しく思っております。不慣れなことも多く失敗を繰り返す毎日ですが、事務所の方をはじめ沢山の方と接する中で、充実した毎日を送らせて頂いております。

背伸びをせず、今の自分出来ることを精一杯努めることで一歩一歩成長していきたいと考えておりますので、皆様ご指導宜しくお願致します。

一、井上あかり

二、家庭科

三、バトン部、家庭部

四、ストリートダンス、音楽鑑賞

五、本年度から母校である本学苑で教鞭を執らせて頂くことになり、大変嬉しく感謝いたしております。

学生時代にお世話になった先生方と同じ職場で働くことができることは大変不思議な気持ちではあります。大きな喜びです。

まだまだ至らない部分ばかりの未熟者ではありますが、早く、先生活方のように一人前になり、教師としての誇りを持てるよう精一杯努力していきますので、今後共、御指導の程よろしくお願致します。

一、齋藤 有矢

二、保健体育

三、ハンドボール部

四、バドミントン、ゴルフ

五、本年度より伝統ある本学苑でお世話になることができ、大変感謝しております。

着任して早二ヶ月が経ちました。授業や部活動に四苦八苦しなから過ごす中で、明るい生徒たちや、優しい先生方に支えられながら、学苑の雰囲気や仕事内容にも少しずつ慣れてきました。

まだまだ至らぬところが多く、未熟な自分ではありますが、学苑のため、生徒のために精一杯頑張りますので、これからも御指導の程よろしくお願致します。

短 大

一、橋本 景子

二、子ども理解とカウンセリング、教育・保育実習研究、保育基礎ゼミ、カウンセリング概論、カウンセリングの技法

四、素敵なホテルで一人でのんびりする、映画鑑賞

五、本年度より子ども学科に着任致しました。専門は臨床心理学で、カウンセリングです。

人を育てる仕事をするには、まずその人自身が育っていること、ゆとりを持っていること(広いキヤパシティ)、自分を知っていること、疲れたら休む術を知っていること。これらが大切であり、そういった人格者を養成することが学苑の精神にも基づくものであると思っております。こんな私ですがどうぞよろしくお願致します。

一、佐藤 完

二、社会福祉概論、社会福祉援助技術

四、デジタル写真(自然)、日曜大工

五、着任にあたって

本年度4月より第一福祉大学人間社会福祉学部より本学人間介護福祉学科に着任致しました。専攻は地域福祉における福祉教育です。本学の学科名に人間とあります。「福祉と人間」の係わりに関心を持ってあります。

明治以降の社会福祉史を概観すると岡山の孤児院を設立した石井十次を始めキリスト教による実践が知られております。しかし彼らを支えたのは仏教徒であります。歴史の中で浄土真宗は民が動くところに浄土真宗は共に動きます。本学に係わる上で浄土真宗高田派における社会福祉実践を概観し本学の、「仏教福祉実践」を支へ実践する理念を概観してゆきたいと考えております。完成年度を向える学科に微力ながらお役に立てれば幸いです。

一、生桑 崇

二、事務局総務課

三、バレー部

四、野球、バドミントン

五、本年度より高田短期大学の総務

課でお世話になることになりました。高田派末寺の者として伝統あるこの高田学苑の業務に携われることに感謝しております。

昨年度までは高田本山の十萬人講財団に勤めておりました。これまでの環境と大きく変わり初めてのことばかりで何かと皆さんにご迷惑ばかりかかっておりますが、一日一日を大切にし少しでも早く高田学苑の発展に貢献できるよう努めていきたいと思っておりますのでご指導のほど宜しくお願いいたします。

一、北畠都和子
二、進路課

進路指導

進路指導部

平成十八年度生(平成十九年三月卒業)は三年制 類が二〇八名、類が一七六名、そして六年制が二〇三名、計五八七名でした。平成十九年度入試の合格結果を、既卒生も加えてご報告いたします。

〔六年制コース〕

- ()内は人数、()なしは一名
国立大学
東京大(15)・東北大(3)・千葉大(2)・お茶の水女子大(2)・東京農工大(2)・一橋大(2)・北海道大・岩手大・東京工業大・横浜国立大
三重大(29)・名古屋大(13)・富山大(2)・名古屋工業大(2)・金沢大・岐阜大
大阪大(13)・京都大(11)・広島大(7)・神戸大(3)・岡山(3)・徳島大(2)・愛媛大(2)・鳥取大・佐賀大・鹿児島大

三、なし
四、山登り、書道
五、昨年の夏から高田短期大学進路課にお世話になっております。若い元気の学生の方々と、緑の木々に囲まれた美しい大学で、楽しく仕事をさせていただいております。

「ちよつと進路課へ」と誰でも気軽に相談に来ていただける場所作りを心がけています。そして学生の皆さんが、希望に夢ふくらませて新しい生活(職場)へと進まれることを、少しでもお手伝いできたらと思っております。どうぞよろしく願っています。

- 公立大学
名古屋市立大(7)・大阪市立大(3)・岐阜薬科大(2)・愛知県立大(2)・大阪府立大(2)・首都大学東京・三重県立看護大・滋賀県立大・京都府立大・奈良県立医科大
文部科学省所管外
防衛医科大学校(2)
私立大学
早稲田大(46)・慶應大(36)・東京理科大(34)・中央大(26)・明治大(10)・津田塾大(3)・自治医科大(2)・獨協大(2)・国際基督教大(2)・上智大(2)・日本大(2)・麻布大(2)・酪農学園大・昭和会医科大・東京女子大・東京慈恵会医科大・東京農大・東京薬科大・立教大
南山大(12)・名城大(10)・中京大(5)・愛知医科大(4)・朝日大(3)・藤田保健衛生大(2)・愛知学院大(2)・愛知工業

- 大(2)・大同工業大・名古屋商科大・四日市看護医療大・皇學館大
立命館大(37)・同志社大(26)・関西大(22)・関西学院大(21)・近畿大(14)・京都薬科大(11)・同志社女子大(4)・大阪医科大(3)・摂南大(3)・武庫川女子大(3)・京都産業大(2)・大阪薬科大(2)・関西医科大(2)・甲南大(2)・徳島文理大(2)・京都外国語大・京都精華大・龍谷大・大阪歯科大・神戸学院大・神戸女学院大・第一薬科大
国立大学
三重大(12)・金沢大(2)・名古屋工業大(2)・弘前大・信州大・静岡大・愛知教育大・滋賀大・京都大・鳥根大・山口大・香川大・大分大・鹿屋体育大
公立大学
三重県立看護大(2)・京都府立大
文部科学省所管外
防衛医科大学校
私立大学
明治学院大(3)・早稲田大(2)・東京理科大(2)・明治大(2)・千葉工業大(2)・成城大(2)・東海大(2)・武蔵野大(2)・慶応義塾大・上智大・中央大・青山学院大・東洋大・北海道情報大・文京学院大・城西国際大・帝京平成大・北里大・白百合女子大・昭和薬科大・成蹊大・帝京大・東京電機大・東京薬科大・文化女子大・神奈川大
名城大(39)・中京大(19)・中部大(14)・愛知学院大(13)・愛知工業大(13)・愛知大(8)・南山大(8)・大同工業大(8)・名古屋商科大(6)・愛知淑徳大(5)・名古屋学院大(5)・藤田保健衛生大(5)・日本福祉大(5)・星城大(4)・椋山女学院大(4)・岐阜聖徳学園大(3)・金城学院

〔三年制コース〕

- 大(3)・名古屋外国語大(3)・名古屋女子大(3)・東海学園大(3)・名古屋学芸大(2)・名古屋経済大(2)・人間環境学芸大(2)・金沢工業大・北陸大・岐阜経済大・愛知新城大谷大・名古屋音楽大・名古屋芸術大・愛知みずほ大・愛知工科大・愛知東邦大
皇學館大(38)・鈴鹿医療科学大(23)・四日市看護医療大(7)・三重中京大(2)・鈴鹿国際大(2)
近畿大(25)・京都産業大(15)・龍谷大(15)・立命館大(6)・関西大(6)・京都学芸大(6)・大谷大(5)・同志社女子大(5)・大阪芸術大(4)・佛教大(3)・大阪工業大(3)・追手門学院大(3)・関西福祉科学大(3)・畿央大(3)・京都外国語大(2)・同志社大(2)・京都ノートルダム女子大(2)・大阪電気通信大(2)・大阪大谷大(2)・阪南大(2)・岡山理科大学(2)・長浜バイオ大・京都医療科学大・京都精華大・京都造形芸術大・京都光華女子大・京都橘大・京都文教大・大阪樟蔭女子大・大阪薬科大・関西学院大・関西外国語大・摂南大・桃山学院大・太成学院大・甲子園大・甲南女子大・神戸樟蔭女子大・宝塚造形芸術大・武庫川女子大・兵庫医療大・奈良大・川崎医療福祉大・吉備国際大・広島工業大・徳島文理大・立命館アジア太平洋大
短大
高田短大(25)・三重中京大短大(4)・名古屋学芸大短大(3)・鈴鹿短大(2)等計14校(44名)
専門学校
三重看護専(13)・三重中央看護専(8)・京都国際建築技術専(3)・東京法律専等、計37校(62名)
海外留学
復旦(中国)
就職
三重県警(2)・日本郵政公社(2)・東

- 大(2)・大同工業大・名古屋商科大・四日市看護医療大・皇學館大
立命館大(37)・同志社大(26)・関西大(22)・関西学院大(21)・近畿大(14)・京都薬科大(11)・同志社女子大(4)・大阪医科大(3)・摂南大(3)・武庫川女子大(3)・京都産業大(2)・大阪薬科大(2)・関西医科大(2)・甲南大(2)・徳島文理大(2)・京都外国語大・京都精華大・龍谷大・大阪歯科大・神戸学院大・神戸女学院大・第一薬科大
国立大学
三重大(12)・金沢大(2)・名古屋工業大(2)・弘前大・信州大・静岡大・愛知教育大・滋賀大・京都大・鳥根大・山口大・香川大・大分大・鹿屋体育大
公立大学
三重県立看護大(2)・京都府立大
文部科学省所管外
防衛医科大学校
私立大学
明治学院大(3)・早稲田大(2)・東京理科大(2)・明治大(2)・千葉工業大(2)・成城大(2)・東海大(2)・武蔵野大(2)・慶応義塾大・上智大・中央大・青山学院大・東洋大・北海道情報大・文京学院大・城西国際大・帝京平成大・北里大・白百合女子大・昭和薬科大・成蹊大・帝京大・東京電機大・東京薬科大・文化女子大・神奈川大
名城大(39)・中京大(19)・中部大(14)・愛知学院大(13)・愛知工業大(13)・愛知大(8)・南山大(8)・大同工業大(8)・名古屋商科大(6)・愛知淑徳大(5)・名古屋学院大(5)・藤田保健衛生大(5)・日本福祉大(5)・星城大(4)・椋山女学院大(4)・岐阜聖徳学園大(3)・金城学院

海旅客鉄道・シャープ等、計15名以上のような結果でした。会報第50号、51号、そして今回の52号と続けて、四年制大学の結果の全てを記しました。四年制だけでなく、短大・専門学校、就職と、全合格者数を一挙掲載できればいいなと思っております。一つの学校が、社会のあらゆる分野で活躍できる人材を輩出していることを実感できると思います。尚、六年制では、久しぶりの東京大理科三類の合格者、三年制では初めての京都大の合格者が出ました。この四月から、進路指導部も新校舎3号館の広い部屋に移動しました。開かれた進路指導部として、生徒や先生方の応援をしたいと思います。諸先輩の方々の母校への声援を今後ともよろしく願います。

今春学苑を退職された方々

- (中・高)
望月 演
鈴木 尚孝
鈴木 正之
服部 謙宏
東 眞作
堀 元昭
(短大)
常磐井 慈裕
黒川 博子
林 徹夫
八木 規夫
櫻井 實子
池上 綾子
博美 勇夫
千葉 壮一
上野 優子
橋川 杉田

中・高部活動

中学なぎなた部

主な戦績

・JOCジュニアオリンピックカップ
・全国中学生なぎなた大会

(H18・7 岡山)

団体の部 敢闘賞(ベスト16)

伊藤瑞希・鳴神温子・
松林藍那

・全国少年武道錬成大会なぎなた競
技

(H18・8 東京)

中学生演技の部 敢闘賞

鳴神温子・松林藍那組
・三重県なぎなた選手権大会

(H19・4 三重武道館)

個人 二位 仲谷 彩

演技 二位 仲谷 彩・瀧美麻衣

昨年度は、夏季に行われた全国大会二つで敢闘賞を獲得するなど、充実した1年となりました。特に、岡山で行われた全国中学生なぎなた大会では、コート決勝で代表者戦までもつれこみ、さらに判定での決着(敗戦)というところで、選手監督はもちろん、日頃練習を共にした他県の選手や、関係者皆さんまで試合に熱中し、応援をいただき感動した次第です。その後、相手校が3位入賞をばたし、我々も残念な気持ちの一方で、現地点での力を全て出し切つての結果ということですが、さすがに気分にもなりました。

本年度のチームは昨年が3年生中心であったのと違い、2年、3年がバランスよく融合しています。チームワークのよさで、力を倍化し、全国の強豪達に挑んでいきたいと思っています。尚、本年も7月に兵庫で行われる全国大会に、3年生4名、

2年生2名が三重県代表として出場します。

中学バスケット部

中学バスケット部は現在男子28名(内3年生2名、2年生10名、1年生16名)女子28名(内3年生5名、2年生11名、1年生12名)という大所帯で活動しています。

練習では技術向上はもちろんです。が上級生が下級生に教えたり、お互いに声をかけあったり、元氣よく挨拶をしたりすることでチームとして一体感を養う努力もしています。その為か時々OB、OGも参加して後輩の育成にあたって来ています。

バスケットボールはここ数年全国的にレベルアップし、より高度なテクニクやプレーが要求される時代になってきました。また試合では選手として出場するだけでなくテーパーオフェンシャルとして試合のサポートをしなければなりません。どちらも集中力と即決力が求められます。

その為部活以外にも普段は高田生として皆勉強にも真剣に取り組んでいます。バスケットボールは5人で1つのチームですがコートではガード、フォワード、センターとポジションに応じた役割があります。生徒たちも個々に与えられた役割を意識しながら自分の持てる力を伸ばす練習をしています。昨年は中体連のほか夏休みにスポーツ教室に参加し他校との交流を深めました。

今年の春季大会では男子、女子共初戦敗退でしたが、この悔しさをバネに2、3年生チームとしては最後

の大会となる夏の中体連に向けて毎日一生懸命練習しています。

中学女子バレー部

私達、高田中学女子バレーボール部は、4月に1年生が入ってくるまで部員数が7人でした。しかも誰一人バレーをやった事がないからこその、みんな仲がよく、引退した先輩方も時々部活に来てくださり、練習相手になってくださいます。平日の練習は時間が少ない中、たくさん球にさわれるようにしています。土日には練習試合を行い、今まで練習してきた事がどれだけ発揮できるか試みます。今では、昔は負けていたチームにも勝てるようになってきました。それも毎日の練習とみんなの

努力、そして先生方のご指導のおかげです。

成長したのは技術だけじゃありません。心もすこく成長しました。私達は1年生の頃は自己中心の挨拶の仕方すらわかりませんでした。そんな私達に先生や先輩がたくさん教えて下さいました。例えば、最初から無理だと諦めない事。その結果として、勉強があるからと部活を諦めずうまく両立してきました。例えば自分が何をすべきか自分で考え行動する事。他にも先輩と後輩の関係や、人と人との関わり方についても学びます。とくに周りを見て相手を考え、その事は家で勉強していても学べるものではないです。この事は先生に何度も指摘をうけました。1年生が入部しても自分に精一杯で何もしない

げられなかったり、何でも人まかせにしたり。しかし、一人一人が心になり、勝つ喜びやバレーの楽しさを知る事ができました。私達はそんなバレーが大好きです。

中学野球部

僕たち、高田中学野球部は7月の中体連に向けて一生懸命練習しています。最近練習試合も増えてきて徐々に力をつけています。

5月には春の中体連があつて、1回戦は美杉中学校とあたり、52で勝ち、2回戦は美里中学校とあたり81で負けました。

そして監督である伊藤先生は、練習はとて厳しく指導してくれて、試合の時はずっと良い採配でチーム

平成19年度 中学表彰者

平成19年度5月28日現在 部活動優秀者

クラブ名	成績	
陸上部	《2007 三重リレーカーニバル(4月28日伊勢県営)》 男子400MR 第6位 上杉(3b)・伊藤(2e)・渡辺(3e)・田端(3b) 47秒29 男子走り幅跳び 第7位 上杉 友貴(3b) 5m62 男子3000M 第7位 久米 秀和(2b) 9分28秒65 女子1500M 第4位 北野亜紗実(3b) 4分55秒03	
	《津市中学校陸上競技春季大会 5月19日 伊勢県営》 優勝 共通男子400Mリレー 上杉(3b)・伊藤(2e)・小林(3e)・田端(3b) 47秒93 共通女子1500M 北野亜紗実(3b) 5分00秒59 大会新 3年女子800M 北野亜紗実(3b) 2分26秒87 大会新 2年男子100M 伊藤 祐人(2e) 12秒14(予選11秒98で 大会新) 2年男子走幅跳 伊藤 祐人(2e) 5M58 大会新 2年男子1500M 久米 秀和(2b) 4分36秒27 2年男子走高跳 植田 幹(2d) 1M50 2年女子走高跳 吉川 奏(2e) 1M30	
	第2位 共通200M 田端 勇作(3b) 24秒96 共通400M 田端 勇作(3b) 55秒79 大会新 3年走幅跳 上杉 友貴(3b) 5M60 大会新 2年110MH 植田 幹(2d) 18秒93	
	第3位 共通200M 伊藤 祐人(2e) 25秒18 共通400M 小林 良太(3e) 56秒84 共通3000M 有瀧 壮(3d) 9分59秒80 共通三段跳 上杉 友貴(3b) 11M16 共通円盤投 加藤 沙弥(3e) 23M38	
	剣道部	《中体連津地区春季総体 剣道の部》 個人戦 準優勝 小林 新(3b)

を勝利へと導いてくれるすばらしい監督です。コーチである古川先生と齋木先生は良い練習法をいつも教えてくれます。

このような恵まれた環境で3年生は残り2ヶ月間みっちり練習して最後の夏の大会を頑張りたいです。

中学陸上部

中学陸上部は、現在3年生22名(男9女13)・2年生11名(男7女4)・1年生20名(男13女7)、計53名で活動しています。

「楽しく・しんどく」をモットーに、各自の【目標】に向かって、練習は声をかけあい「チーム陸上」の中で、皆がんばっています。

昨年度は、丹羽弥奈斗君(旧3年)が、男子400Mで標準記録を突破し、念願の全国大会出場を果たしました。東海大会にも、丹羽君はじめ、北野亜紗実さん(旧2年)が800Mで出場、久米秀和君(旧1年)が1年1500Mで出場、第2位入賞を果たしました。また、女子駅伝が地区大会2連覇(2年連続大会新記録更新)、県駅伝6位初入賞と、過去最高といえる成績をおさめ、今年も全国駅伝出場目指してがんばっています。

《昨年度主な戦績》

全日本通信陸上三重大会

- ・400M第3位丹羽弥奈斗(3)
 - ・1年1500M優勝久米秀和(1)
 - ・800M第5位1500M第7位
 - 共に北野亜紗実(2)以上東海出場
 - ・三段跳第7位伊藤芳彰(3)
 - 三重県Jrオリンピック
 - ・A400M2位丹羽弥奈斗(3)
 - ・C100M8位伊藤祐人(1)
 - ・C走幅跳3位伊藤祐人(1)
 - ・B1500M3位北野亜紗実(2)
- 津市中学校陸上競技大会

- ・男女総合第3位
- ・男子個人7名リレー2チーム・女子個人6名リレー2チーム県大出場

三重県中学陸上競技大会

- ・400M第4位丹羽弥奈斗(3)
- ・2000M第5位北野亜紗実(2)
- 津安芸駅伝(男女共県大会出場)
- 男子第5位

2区久米秀和(1)(区間新)

- ・女子優勝2年連続大会新更新
- 1区北野亜紗実(2)(区間新)
- 3区小林紗知(2)(区間新)
- 4区三村有葉(3)(区間賞)
- 5区小林紗依(2)(区間賞)
- 三重県中学駅伝競走大会
- 男子第15位(過去歴代2位)
- 女子第6位(県初入賞)

中・高剣道部

新しい道場の床も随分足になじみ、少し手狭さを感じながらも、中学生19名、高校生30名で毎日稽古に励んでいます。本年度は三重県高等学校総合体育大会剣道競技兼全国総体・東海総体予選において男子団体戦が3位に入賞し東海大会へ、男子個人戦において6年生の樋口勝平が準優勝で全国大会に出場することになりました。また女子においては、本年度はノースードからのスタートでしたが新人戦でベスト8、春季大会では3位と一ずつ階段を上がつてきました。最終的にはベスト8というところで東海大会を逃してしまいました。そのかわり、個人戦において3年生の中村文香がベスト8に入り東海大会出場を決め意地を見せてくれました。試合会場では中学生も応援に加わり高田高校らしい一体感を実感しながら気持ちよく試合に臨むことができました。

日頃より、帰省の度に学校へ顔を

出して下さる先輩、稽古をつけて下さる先輩、親子二代で剣道部OBとして応援して下さいます。今年本当にありがとうございます。今年のように結果を残して恩返しができることは、何より嬉しいことですが、再度、結果に左右されることなく高田高校剣道部の一員としてプライドを持ち、学校生活そして大好きな剣道に打ち込める事に対して感謝の気持ちを忘れず今後も努力していきたいと思っています。

高校硬式野球部

私達硬式野球部は、現在、3年生7人、2年生23人、1年生20人、マネージャー4人の、合計54人で毎日活動しています。

新チームになって、初の公式戦であった秋季大会では、惜しくも地区予選敗退となりましたが、冬の寒く厳しい練習を乗り越え、春季大会で目標としていた県大会出場を決めました。また、秋の一年生大会でも地区予選で優勝し、県大会出場することができました。

これも、毎日熱心に指導して下さいる先生方や、応援して下さいる保護者の方、地域の方のおかげだと思ひ、日々感謝しています。

県大会では、十分な力が出し切れず、悔しい結果となりましたが、一人一人がたくさんの事を学び、大きなものを得て、また改めて次に繋がる練習に励んでいます。

辛く厳しい時もありますが、チーム内で支え合い、辛さを楽しみに変えて、大好きな野球を大切な仲間と共にすることで、充実した野球生活

を送っています。

だんだんと夏の大会も近づいており、3年生にとっては、これが最後の大会ということで、ベストを尽くせるように追いつきを始め、1・2年生は、先輩達が一日も長く野球ができるようにと、自分達ができる事を一生懸命やっています。『ベスト8』を目標として、声を響かせてプレーをし、一球一打のチャンスを生かして、『高田高校の野球』ができるように、全員が心を一つにして、チーム一丸となって頑張ります。

高校なぎなた部

新高 3名、4年生3名を加え、19名で活動しています。昨年度はインターハイ、選抜大会出場をいずれもあと一步の所で逃し、くやしい思いをしました。本年度は3年生が1名しかおらず、若いチームになりましたが、先輩方の築かれた伝統をひきつぎ、日々精進して、昨年の雪辱ができればと思っています。

平成18年度東海総体(H18・6愛知)

- 団体 2位 塚本 明子
- 個人 4位 塚本 明子
- 平成18年度県新人なぎなた大会
- 演技 2位 山中裕貴子
- 3位 野畑希和子組
- 古田崇寿佳
- 服部有希子組
- 瓜生 里映
- 瓜生 里映
- 名野 有香組
- 野辺 里絵

先月、行われた県総体(平成19年度)の結果、残念ながら、本年もインターハイへの出場はなりませんでしたが、しかし、団体、個人4名、演技2組が東海総体への出場権を得

ることができました。東海総体では一昨年、総合優勝を果たし、昨年は団体決勝で大接戦の末、惜しくも敗れ、稲生高校について2位と、近年好成績をおさめています。現チームの集大成として、全力を尽くして戦い、二度目の総合優勝をはたし、優勝旗をもち帰りたいと思います。

高校バレー部(男子)

ぼく達高田高校男子バレーボール部は現在、3年生4人、2年生5人、1年生11人、マネージャー1人の21人で活動しています。

活動内容は平日おもに学校の体育館で3時間程度の練習、休日には電車などを使い、いろいろな高校に練習試合に行きます。

これまでの大会結果は、秋の県大会6位、春高予選ベスト8、中部総合5位となっておりいままでのところあと一步のところでベスト4に入っていないので、最後のインターハイ予選ではベスト4に入れるように松本先生と杉井先生と一緒にみんなががんばっていきたくです。

高校バレー部(女子)

私達高田高等学校女子バレーボール部は、現在1年生9人、2年生10人、3年生3人、計22人で毎日練習に励んでいます。

週末の土日には、尾市先生にマイク口バスを運転していただき、県内や県外の学校に合宿や練習試合に行っています。

目標は県ベスト4ですが、強豪と対戦したこともあり、自分達の実力があらず、結果が出ていません。

5月25日から、3年生の公式戦最後の試合となるインターハイ予選が始まります。

練習の成果を發揮し、2回戦の上野商業、4回戦の津田学園を破ってベスト8入りしたいです。

高校新体操部

新体操部です。本年度も部員一同、部活と勉強の両立を目指し、日々練習に励んでいます。今年1年生部員が12人入部し、練習も今まで以上に活気が出てきました。

新体操競技は、個人競技なら1分30秒、団体競技なら3分という時間の中で行われます。この短い時間の中で、今までの練習の成果を全て出しつづかなければなりません。当然ながら、競技は一回きりですので、

たった一つのミスが明暗を分けることとなります。また、競技中は監督であつてもアドバイスなどの声かけなどをする事はできません。選手はひたすら自分を信じるほかありません。従って、技術や体力も大事ですが、こころという時の集中力や緊張感に打ち勝つ精神力を磨くことに重点を置き、練習をしています。

さて、本年度の主たる大会といしましては、6月に静岡県で行われる東海高校総体、8月に佐賀県で行われるインターハイがあります。個人競技では、本年度キャプテンの上田真寛と副キャプテンの新川晃平がインターハイ出場の枠をめぐるし

ぎを削っています。また、1年生部員の成長によっては団体出場、来年のインターハイ団体出場がみえてきますので、今後の伸びに期待しています。

最後になりますが、新体操部OBの皆様の心温かな応援ありがとうございます。また、今後ともご支援の

方、よろしくお願いたします。

高校バスケット部

私たちは放課後毎日男女共に練習に励んでいます。基礎練習から始まり、オールコートで試合に向けての練習もします。走りこんだり、きつい練習になると嫌になったり弱音を吐きそうになると嫌になります。でも、一緒に頑張っている仲間同士声をかけ、励まし合つてみんなで乗り越えてきました。よく考えると、どんなに辛い練習があつても毎日部活に行き続けられるのはやっぱりバスケットが好きという気持ち強いからだと思います。いいプレーが出来たときは嬉しいし、やつていて良かったと思えます。

バスケットはチームプレーです。個人の高い技術も必要だけど、チームワークはもっと必要だと思います。だから日々の練習の中で仲間との信頼関係を深めていくことはとても大切なんです。でも私は自然に深められていると思います。部員の間とは毎日一緒にいるし、辛い練習も一緒に乗り越えてきたからです。他の友達とは違う強い絆で結ばれているような気がします。

毎日練習しているのはやっぱり試合で勝つたいからです。勝つ為には一日一日の練習を大切に、集中して常に全力で取り組まなければいけないと思います。

指導して下さる先生方や応援してくれる家族や友達への感謝の気持ちを忘れず、これからも一生懸命練習し、たくさんの方々に応援してもらえるチームになっていきたいです。

高校ソフトテニス部
ソフトテニス部に入って
6年b組 新堂 奈央

私は、中学3年生の12月から約2年と半年、ソフトテニス部に所属し、最上級生になってからはキャプテンを務めさせて頂きました。部活動を通して、ソフトテニスの技術だけでなく、スポーツをする楽しみや人との関わり合いなど様々なことを学ぶことができました。最初は色々気付かないことが多かったですが、先生方や先輩方に指導して頂きながら、人に対する気遣いなども身につけていき、普段あまり感じることのできなかつた両親への感謝の気持ちも持つことが出来ました。そしてまた、すごく充実した生活を送ることができました。勉強との両立など、途中で悩むこともありましたが、それ以上に笑顔でいられることが多く、部活動を心から楽しめました。特に団体戦で、みんなが団結して試合にのぞめたことは本当に良い思い出です。

これから、高校を卒業し、大学生、社会人になつても、部活動を通して学んだことはきっと生きてくると思います。また、出会う仲間は一生涯の友達になると思います。高校生活の中で、ソフトテニス部で得たものは、一生の宝物です。周りの方々みんなに感謝すると共に、後輩もまたそう感じられるように手助けをしていきたいと思っています。

高校ハンドボール部
男子13人、女子17人の新入生が入部し、現在ハンドボール部は、合計男子30名、女子28名で活動しています。

昨年12月に行われた新人大会では、男子は、1回戦稲生高校に勝ちました。女子は、1回戦四郷高校に敗れました。

先日行われた三重県高校総合体育大会では、男子は、1回戦亀山高校に、2回戦川越高校に勝ちました。女子は、1回戦いなべ総合学園に敗れました。この大会で男子は県ベスト8に入る事ができました。

まだまだ、満足いく成績は残せていませんが、3年生が引退し、1年2年主体のチームになり、チームとしての意気込みも高まっているところです。まずはベスト4に入賞できるように頑張っていきたいと思

は、男子は、1回戦白子高校に勝ちました。女子は、2回戦津東高校に敗れました。女子は、1回戦四郷高校に敗れました。

卒業生の皆様、もし時間を作つていただくとができましたら、是非高田高校グラウンドまで足を運んでいただきたいと思っています。

高校水泳部は現在部員が40名をこえる大きな部活になっています。昨年度は若浪和希さんが団体3位に入賞する快挙をなしてあげられました。現在の部員達も、5月の終りにプール清掃を行い、シーズン本番に向けて熱心に活動しています。多くの部員がいるので、様々な意見があり、時に考え方が違い部内で話し合いが必要になる時もあります。そういった試練を乗り越えて、人間的な成長をしていって欲しいと思っています。

高校卓球部は、男子(32名)女子(9名)の部員がインターハイ出場を目標に、毎日、練習に励んでいます。

今年4月に行われた春季大会で

平成18年度東海高等学校新人卓球大会兼第34回全国高等学校選抜卓球大会東海選考会(岐阜県・中津川市)

男子学校対抗
第6位 高田高校

平成19年度三重県高等学校高校総合体育大会兼平成19年度全国高等学校総合体育大会(兼東海総体)卓球競技三重県予選会

男子学校対抗
優勝 高田高校
女子学校対抗
準優勝 高田高校
男子シングルス
優勝 松生 直明(年B組)
第3位 高藤 雅史(6年c組)
第5位 高塚 洋向(年2組)
第6位 酒井 佑人(年1組)
第7位 後藤 和真(年D組)
女子シングルス
優勝 長尾 亜紀(年2組)
第4位 高藤雅史・松生直明組
女子ダブルス
第3位 長尾亜紀・高藤江美子(4年C組)

高校卓球部は、男子(32名)女子(9名)の部員がインターハイ出場を目標に、毎日、練習に励んでいます。

平成19年度三重県高等学校高校総合体育大会(兼東海総体)卓球競技三重県予選会

男子学校対抗
優勝 高田高校
女子学校対抗
準優勝 高田高校
男子シングルス
優勝 松生 直明(年B組)
第3位 高藤 雅史(6年c組)
第5位 高塚 洋向(年2組)
第6位 酒井 佑人(年1組)
第7位 後藤 和真(年D組)
女子シングルス
優勝 長尾 亜紀(年2組)
第4位 高藤雅史・松生直明組
女子ダブルス
第3位 長尾亜紀・高藤江美子(4年C組)

平成19年度三重県高等学校高校総合体育大会(兼東海総体)卓球競技三重県予選会

男子学校対抗
優勝 高田高校
女子学校対抗
準優勝 高田高校
男子シングルス
優勝 松生 直明(年B組)
第3位 高藤 雅史(6年c組)
第5位 高塚 洋向(年2組)
第6位 酒井 佑人(年1組)
第7位 後藤 和真(年D組)
女子シングルス
優勝 長尾 亜紀(年2組)
第4位 高藤雅史・松生直明組
女子ダブルス
第3位 長尾亜紀・高藤江美子(4年C組)

(8月9日・14日)・佐賀県・佐賀市で開催される全国総体に、高田高校(男子学校対抗)・松生直明・高藤雅史・長尾亜紀(男女シングルス)に出場します。
(6月16日・17日)・静岡県湖西市で開催される東海総体に、男女高田

高校(学校対抗) 松生直明・高藤雅史・高塚洋向・酒井佑人・後藤和真・長尾亜紀・高藤江美子(男女シングルス・男女ダブルス)に出場します。

高校馬術部

毎年、全国大会出場をけて行われる東海予選が今年も6月3日(日)愛知県森林公園で行われました。

今年1年生の時から2年間、全国大会に出場し、昨年は団体にも出場した主将の梅田(3年)を軸に長谷川(6年)、大津(2年)の3名が出場しました。競技のトップバッターとして出場した梅田は大きなプレッシャーの中、これまでの経験から慎重にゴールを切り減点0でした。他校の選手が落馬やたぐさんの減点を重ねる中、2年生ながら出場した大津は走る馬をよく我慢し梅田に続いて減点0でゴールしました。

この時点でチームの減点がないのは本校だけです。3番手の長谷川がゴールを切れば全国大会の出場が決まります。緊張気味の長谷川はみんなの見守る中、減点0でゴールし昨年を引き続き全国大会出場を決めました。近年になく3名とも減点0の完全優勝を果しましたが、全国のレベルはこんなものではありません。7月20日より山梨県で行われる本戦に向け、更なるレベルアップを計り上位入賞をめざしたいと思います。

団体での全国大会出場を決めた後、続いて個人戦の東海予選が行われ、昨年全国大会個人戦に出場している梅田(3年)と初出場を目指す大津(2年)が予選突破を目指しました。昨年、馬事公苑(東京都)で行われた全日本高等学校馬術選手権大会に、東海予選を2位で通過し出場した梅田に、昨年以上の成績を期

待しましたが、1次予選敗退という残念な結果になりました。2年生の大津が1次予選を勝ち抜き2次予選へと進みました。団体戦からの調子の良さで波に乗れるかと戦いましたが、ここで経験不足から敗退となりました。両名ともそれぞれ自分の改善点が見つかったと思います。個人戦での全国大会への出場権は取れませんでした。全国大会において高田高校として出場する団体戦でどれだけ良い成績が出せるか残り少ない日々を頑張っていきたいと思

待しましたが、1次予選敗退という残念な結果になりました。2年生の大津が1次予選を勝ち抜き2次予選へと進みました。団体戦からの調子の良さで波に乗れるかと戦いましたが、ここで経験不足から敗退となりました。両名ともそれぞれ自分の改善点が見つかったと思います。個人戦での全国大会への出場権は取れませんでした。全国大会において高田高校として出場する団体戦でどれだけ良い成績が出せるか残り少ない日々を頑張っていきたいと思

高校陸上部

会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。現在48名の部員で活動しております。しかしながら高校から陸上競技をはじめた生徒が半数以上いる為3

年間かけて基礎・基本からじっくり取り組んでいます。また、3年制、6年制の生徒が共にはげましあい仲間として絆を強くしています。そして個人競技であるがゆえに「チーム力」を強く意識し、行動できる部を目指しています。総合力という観点からも今まで取り組んでいなかった競技にも成果が少しづつでてまいりました。平成18年度の秋の県高校駅伝では5位に入賞し東海大会へ出場させて頂きました。競歩でも3名が標準記録を突破し、神戸での全国大会に出場させて頂くことができました。冬以降も4回の合宿や練習会に参加し、高いレベルで競技すること意識が上がりつつあります。これもひとえに同窓諸子の皆様や保護者の皆様のご指導、ご協力の賜でござ

共、ご指導のほどよろしくお願い致します。新チームの主な戦績は次のとおりです。

・平成19年度東海高校春季大会
400mハドル 第2位 加納多佳子
100mハドル 第5位 加納多佳子
5000m 第4位 小野郁文
3000m競歩 第3位 池村理佐
5000m競歩 第5位 伊藤大輝
" " 第7位 近藤健一
" " 第8位 杉田三郎
4x400mリレー 第6位
三永川 加納 山田 池村

・平成19年度東海高校総体
400mハドル 第2位 加納多佳子
3000m競歩 第3位 池村理佐
15000m 第8位 小野郁文
5000m 第8位 小野郁文
4x400mリレー 第8位
三永川 加納 山田 池村
5000m競歩 第4位 近藤健一

5000m競歩 第7位 伊藤大輝
8種競技 第5位 三原伸公
8種競技 第8位 伊藤芳彰

伝言インターアクトクラブ

去年は、多様なボランティア活動への参加、一身田駅のプラントアによる花壇作り運動に対して、社団法人小さな親切運動本部より「小さな親切実行章」の表彰を頂いた。OBの紀太允様の推薦のおかげであります。先輩の方々が、私たちの活動を評価して、応援していただいていることを深く感謝しています。地味な部ですが、やはり継続は力であることを信じて頑張っていきたいと思います。

校外的な活動は、寺内町祭りや一身田商工会の七夕祭り、夏休みの津市教育委員会主催の歴史まるごと体験塾の手伝い、及び本山の花まつり、

第57回三重県高等学校総合大会 東海大会・全国大会出場一覧表
平成19年5月25(金)~28(月)

部名	競技	年	組	氏名	成績	東海	全国	
卓球部	男子ダブルス	6	B	高藤 雅史	4位			
		C	松生 直明					
	女子ダブルス	4	B	長尾 亜紀	3位			
		C	高藤江美子					
	男子シングルス	6	B	松生 直明	1位			
		C	高藤 雅史	3位				
		2	高塚 洋向	5位				
		1	酒井 佑人	6位				
		D	後藤 和真	7位				
	女子シングルス	2	長尾 亜紀	1位				
		6	C	高藤 雅史				
	男子団体		2	D	米田 真也			1位
			D	後藤 和真				
			1	岩城 壮太				
			2	小林 勇斗				
B			大野 志郎					
B			松生 直明					
1			酒井 佑人					
2			高塚 洋向					
4			杉本 祥平					
2			長尾 亜紀					
女子団体		A	安藤 知美	2位				
		B	三浦 亜由美					
		D	小林 千鶴					
		E	練木 いくみ					
		4	C		高藤江美子			
		1	永田 有貴					
		3	浦中 静香					
剣道部	男子団体	6	a	樋口 勝平	3位			
		5	B	濱田 正宏				
		E	佐脇 渉太					
		b	山野 賢史					
		E	仲 康朗					
		4	a	後藤 大智				
		B	赤塚 健太					
男子個人	6	a	樋口 勝平	2位				
	女子個人	3	中村 文香	ベスト8				
陸上部	400H	6	b	加納多佳子	2位			
	3000m競歩	b	池村 理佐	3位				
なぎなた部	演技	5	d	山中裕貴子	3位			
		4	e	松林 藍那				
		4	b	鳴神 温子				
		5	b	服部有希子				
	個人	5	b	服部有希子	5位			
		5	b	古田崇寿佳	6位			
		5	b	野畑希和子	7位			
		4	b	鳴神 温子	8位			
	団体		C	堀内 優子	2位			
			5	b		服部有希子		
			5	b		野畑希和子		
			5	b		古田崇寿佳		
			5	d		山中裕貴子		
			4	b		鳴神 温子		
新体操部	個人	5	d	松林 藍那	1位			
		3	新川 晃平	2位				
自転車	ロード個人	C	落合 秀俊	2位				
		A	野田 慎哉	5位				
フェンシング	個人	フルーレ	4	b	杉谷 佳紀	2位		

婦人大会、お七夜中の献書展、中学生合宿などのボランティアに参加。津市社会協議会の補助により、花壇作りを行っています。また、津北ロタリークラブの支援により、韓国、アメリカへの交換留学に派遣され、国際交流を深めると共に見聞を広めています。三重・岐阜とのインターアクト年次大会にも参加し、奉仕活動、国際交流の大切さを体験しています。津北ロタリークラブと共催で、一身田寺内町祭りの時チャリティーバザーを行い、その売り上げをユニセフ等へ寄付しています。

校内的には、毎月の本山参詣の準備・清掃などの手伝いを行なっています。充分なボランティア活動はできませんが、多くの人とのであいと、その体験は、クラブ活動に参加して、いよよよと実感しています。

今年より、仏教科の藤田先生が顧問になって頂きましたので、より一層クラブを充実させたいです。

(大竹 亮宣)

吹奏楽部

吹奏楽部は、現在1年生から3年生まで約90名で活動しています。今年、1年生が例年になく45名入りし、大所帯となり、楽器も不足し、大変な事もあります。みんな毎日練習に励んでいます。

コンクール等の活動は、3月末に行われました。管楽器個人・重奏コンテスト三重県大会、個人の部に3名、重奏の部に3グループ出演いたしました。その内、フルート独奏と金管7重奏、クラリネット5重奏が金賞を受賞し、クラリネット5重奏は、県代表に選ばれ、4月22日に静岡県浜松市にて行われた本大会に出演。優良賞を受賞しました。

5月27日には、毎年恒例の中勢地

区高等学校第11回フレンドシップコンサート・インプラスが三重県文化会館大ホールにて行われ、約900名の聴衆の前で、幅広いジャンルの曲を演奏し、無事に終える事ができました。

今後の活動は、野球の応援や夏のコンクールに向けての練習を中心に取り組んでいきます。コンクールだけでなく、いつも良い演奏が出来る様に取り組んでいこうと思います。

天文部

天文部です。今年3号館が完成し、4階にプラネタリウム室、5階に天文台をつくらせていただきました。4月から、中学科学部とともに部活動で放課後運用しています。近くの幼稚園・小学校・中学校には一般公開して地元の方にも見ていただき、天文教育の普及につとめていくつもりです。また、今年にはプラネタリウムコンテストで中学生が銅賞、作品賞をいただきました。

顧問 鈴木公朗

短大だより

進路状況

短期大学は幼児教育学科が子ども学科になり、更に人間介護福祉学科が第1期目の卒業生を社会に送り出すという記念すべき年になりました。それぞれ学科によって方向は違いますが、現在、各学科の学生が積極的に就職活動をしています。早くから活動しているオフィス情報学科では近年の景気の良さを背景に就職口の門戸は広がっているかのごとく言われていますが、実状はそれほど

でもないようです。三重県の昨年末の求人倍率は1.37倍で全国的に5番目で高い水準にあります。しかし、内容をみると派遣やパートが多く正規雇用の倍率は0.8倍だそです。三重県内にも500社程の派遣会社が存在し、さらに八口ワイクに800社程の申請が出されていくとのこと。平成19年3月、地方公共団体と民間の官民交流会より、皆さんも承知の通りこの景気は海外での販売が好調で内需によるものではないと見られます。従って、国内の第3次産業は依然低調なままです。海外に多くの工場を持つ企業の経営収支は良くなっても一般の人にはその恩恵を受けることがありませんから内需は拡大しないのです。流行語にも少し前はフリーターでした。それがニートに変わり現在ではワーキングプアです。働けど働けど我が暮らし楽にならざり。じつと手を見る」と石川啄木は歌いました。明治の庶民の生活が21世紀の現代に再来しているとするれば現在の日本の生活が100年間逆戻りしている感が拭えません。

本学の学生諸君がこのような渦に飲み込まれることのないよう支援をしていかなければならないと考えています。

子ども学科や人間介護福祉学科については雇用機会均等法の成立以降女性の働く職場の見直しが進み育児・介護に関わる分野における社会的認識の高まりの中で民間施設が拡充され、働く場所が増大しています。ただ、三重県の場合は南北格差が著しいため南の方面では求人数が少なく、働ける場所が常に一定数確保できるわけではありません。企業就職を含めて如何に南の方面から通学する学生の進路を保障するかが当面の

課題であります。

主な進路先
幼稚園29名 保育園90名 施設関係4名 建設業1名 製造業13名 運輸通信業4名 電気ガス業1名 卸小売業19名 金融業7名 サービスマ業14名 計182名

四大編入等
三重大学 四日市大学 鈴鹿国際大学 愛知文教大学 岐阜女子大学 三重大学大学院 奈良佐保短期大学 専攻科 名古屋女子大学専攻科

部会だより

北端 一子

平成19年度がスタートしました。公立は、3月末には職員がソワソワします。異動の時期だからです。希望を伝えても、なかなか私たちの思う様にはいかないものです。みんなが好きなことを言っていたら成り立たなくなることが分かっているのですが、複雑な心境です。いよいよ新学期が始まると、保護者から「うちの子は、先生が大好きだったのだから、とても心配です。」という声が聞かれました。前担当が異動でいないし、担任が代わったことを心配している言葉でした。また新しい担任も、ほとんどの保護者から言われ不安になり、出来るだけ関わりを多く持つと努力していると、保護者から「先生、心配せんでも良かったわ。子どもって切り替えが早いな」と言われ、担任は驚きと喜びの気持ちが入り混じったようでした。4月は、保育室が変わり、担任の交代と新入園児の仲間入りと環境が変わりま

す。不安定な気持ちになる子供たちを落ち着かせることが大切です。この気持ちを忘れず持っていたいですね。さて、樹心同窓会短大部の活動を今年も続けています。4月に第1

学 科	卒 業 者 数	就 職 希 望 者	内 定 者 数	四大 編入等
幼児教育学科	141	132	132	5
オフィス情報学科	67	50	50	12
計	208	182	182	17
本学平均 (%)		88	100	
県内平均 (短大)		74	94	

回の役員会がありました。前年度の反省と今年度の取り組みを話し合いました。今年も卒業生が同窓会を開く時に、通信費の一部を短大部会が助成しました。同窓会をする時は短大まで連絡してくださいね。金額は少ないですが助成しますので一報をください。今年も高短祭に短大部会としてのバザーをします。品物を提供していただける、とてもうれしいです。また、お手伝いもお願いしたいです。10月27日と28日に高短祭があり、同窓会のバザーは、27日(土)午前10時からしますので、ぜひ来校して楽しんでください。

国際交流委員会

「培われた十四年の交流」

日本人の海外渡航者数は、1年間に約1600万人をこえています。わが校においても、多くの生徒が夏休みなどの長期休暇を利用して海外旅行や語学研修に参加するようになりました。

濱邊 博之

また日常生活でも多くの外国人を目にするようになり、それに伴い多くの外国文化に触れることができません。街のあちこちにあふれる文字は、英語だけでなくハングル、漢字、さらにポルトガル語やスペイン語と多様です。現在、200万人の外国人が日本に住んでおり、国際化の波が着実に進んでいます。このように海外渡航や外国人との交流が身近になった現代において、国際交流活動は草の根レベルから大きなものまで、多様な形で行われています。

本校の国際交流委員会も早いもので14年目を迎えました。平成6年から始まったオーストラリア交換留学に続いて、13年より始まったシンガポールとの交流は、昨年初めて新民セカンダリースクール生が来校し、シンガポールとも相互交流の形が整いました。昨年度は短い滞在でしたが、日本文化を紹介する特別授業や京都研修などのプログラムに熱心に取り組み姿がとて印象的で、多くのことを吸収しているという姿勢は見習わねばならないものでした。

3月に行われた本校の「オーストラリア留学」は今回で13回目を迎え、生徒36名、引率教員5名(千草正道・岡田博代・箕田昭子・松本和也・浜辺博之教諭)が参加しました。生徒たちはそれぞれセントモニカズカレッジ高校とパレードカレッジ高校の2校に分かれ、約2週間のプログラムを体験しました。各校が準備したプログラムは授業だけでなく、金鉱を再現した野外博物館やオーストラリアの自然や動物にふれることのできる動物園など多岐にわたる充実したものでした。私自身の体験で恐縮ですが、フェアウェルパーティー(送別会)である先生との会話で忘れられないものがあります。

のプログラムは決して語学研修のただけではない。私たちが大切にしているのは、相手や相手の文化への尊敬、そして何よりお互いの友情を大事にしていきたいということだ。そう言った彼女は何人も卒業生が再びオーストラリアを訪れていることを教えてくれました。

このプログラムに参加した生徒にとって、期間中の交流はもちろん、期間後に始まる交流こそが、真の意味での国際交流のスタートであるといえます。

これまで多くの方々のご支援やご厚意によって支えられてきた、この交換留学プログラムが、こうして着実に育っていることを改めて実感することができ、この活動が未永く両国の間で行われることを願ってやみません。

字苑トピックス

将棋団体優勝

6 C 村田健太郎

将棋同好会は、囲碁同好会や鉄道研究会、地歴部などと共同で部室を使わせてもらっています。知り合いが増えるだろうと思いきや、多くの部員が兼部していて、総人数はそう多くなかったりします。

こういった、半ば重複した部員による同好会や部が多いわけですが、時に彼らは、どの様な目的でその部活動を選んでいるのでしょうか。

入部の目的には大きく分けて二つあります。一つは、その競技または技術においてより精進すること、もう一つは、同じ趣味の人達と知り合い、交流を深めることです。これらは切り離すことはできませんが、これらの強い弱いによって部活動に對

する思いや意識が変わってきます。それ故に、部員同士に摩擦が起こることも多々あります。

私が中学の時は、まだ高校にしか将棋同好会が無く、無理を言って仮入部させてもらいました。その時は、とにかく強くになりたい、強者とたくさん将棋を指したいと思うばかりでした。高校に上がり、今の部室に変わると、他の部活動との交流が盛んになりました。その影響で、部員の目的が大きく変わっていききました。その部室は、将棋するもよし、碁を打つもよしといった様に、複数の趣味をその日の気分次第で楽しもうという雰囲気になってきたのです。勿論私の様に一つの部活動に専念する人も多くいます。

5年間の同好会生活で学んだことは多いですが、これからの目的を見すえて活動していきたいです。

第43回全国高校将棋選手権の県大会 男子団体 優勝

7月に行われる全国大会(島根県)に出場

私とオリピックと数研と

片岡 俊基

私は、今年の7月末に行われる第48回国際数学オリピックベトナム大会、8月半ばには第19回国際情報オリピッククワアチア大会に選手として参加することになりました。

この高田字苑に入学してもう6年目になりますが、その間、数学を通して、学年を超えて交流してきました。その場所となったのが数学研究部(数研)です。

中学1年生の時から私は数研に所属しています。最初は、数学の問題を解くだけのクラブでしたが、活動内容を広げ、今は、トランプなどを

用いた数学的ゲームをしたり、コンピュータでプログラミングをしたり、ジャグリングをしたりもして、いろいろな方向から数学の楽しさを感じることのできるクラブを作っています。また、数学オリピックのためだけでなく、文化祭のための部誌を書いたり、名古屋大学で行われている公開講座に参加したり、ゼミ形式で数学書を輪読したりすることで、現代数学にも触れています。

数研で熱心に活動してきたのは数学について話せる仲間を増やしたり、後に続く後輩を育てるためです。数学オリピックに多くの出場者を出す学校はどこも数研があり、先輩が後輩によい刺激を与え、そのため、毎年優秀な人が出てきています。そのような数研を参考に今の数研を作ってきました。今年の数学オリピックの最終選抜合宿に同級生の福村史哲君とともに参加できたことは本当に嬉しいことです。

今年が選手として出場できる最後の機会になるので、悔いの残らぬよう全力を尽くしていきたいと思えます。

俳句

俳句同好会は、昨年度正式に発足し、中・高校生が一緒に活動しています。自分たちの句作の力の向上はもちろん、今年で10回目になる、松山俳句甲子園への参加、上位入賞を目指して熱心に活動を進めています。

昨年行われた「第9回俳句甲子園」では、地方予選を勝ち抜き、東海津大会優勝校として、本大会に出場しました。8月19日に行われた予選リーグを順調に勝ち進み、準々決勝に進出しましたが、今大会準優勝の成績をおさめることになりました。開成高校と対戦。善戦しましたが、惜敗

し、準決勝に進出することはできませんでした。

「俳句甲子園」の対戦は、5人で1チームの学校対抗戦です。あらかじめ発表された題にそって作った句をエントリーし、当日の対戦で句を発表、お互いのチームが句を鑑賞し批評し合うデイベートをを行います。審査員は、句とデイベート内容の両方を審査し勝敗を決めます。句を作る力はもちろん、短時間で句を鑑賞しそれを自分の言葉で発表する力も重要です。昨年は投句部門で2名、大会エントリーの句で1名が入選、部長の服部美加里さんが審査員特別賞を受賞しました。今年も昨年以上の成績をおさめることができるよう部員全員が張り切っています。

「俳句甲子園」以外にも部員たちは活躍の場を広げています。服部美加里 第9回神奈川大学俳句大賞入選 岩崎あゆみ 龍谷大学第4回青春俳句大賞 選考委員特別賞(寺井谷子選)

会員だより

歌手デビュー

加藤 理(平成元年中6卒) オサムこと、おでんのオサム(津市大門)店主・加藤理さん(36)が、キングレコードから演歌「暖簾一代」で全国デビューした。

母がピアノ講師だったこともあり、幼少から歌手に憧れていたオサムさん。一時はバンドを組むほど音楽に傾倒していたという。

店を開業して営業も順調だったが、歌手への憧れを捨てられないオサムさんはデビューを目指しカラオケを習い始めた。04年の県レコード



商組合主催のカラオケ大会で和青児の「雪の華」を歌いグランプリ受賞。開業15周年の今年、CDデビューとなった。

「暖簾一代」は料理の道の厳しさを歌った、いわゆるド演歌。

「愛をありがとう」はすべての人への限りない感謝を込めたバラードでウエディングソングにぴったりな曲です。

オサムさんは「ド演歌とバラードと1枚で2度美味しいCDです。2曲とも覚えて、歌って頂けたら」と微笑む。

ふるさと新聞より

■昭和28年中学卒業生クラス会報告

谷 洋明(昭和28年中卒)

平成18年11月4日(土)、プラザ洞津で午後4時を受付にして開始した。

1年9ヶ月振りのクラス会である。前回は32名の参加で、これより減るのではと内心不安であった。今回は卒業後12回目の会である。昭和32年、初回の時と同じ35名(女性7、男性28名)も集合した。

幹事は受付30分前に待機した。参加を予定しながら風邪で体調を崩したため、態態欠席することを伝えに来た人もある。女性の中に10年振りかと思える数名の姿があった。

記念撮影を4時40分頃終了後会場に入った。途端に会場は56年前の教室に変わった。今回初めての試みは中学1年当時、中庭で撮影された写真を大紙に拡大して会場に展示したことがある。壁面に貼られたA組・B組の2枚の写真に気付いた面々がその前に集まり始めた。大きく引伸ばされた半世紀前の姿に懐旧の思いと感動に満たされた。山田武司先生、原次子先生の姿もあり、遙か昔に一気にスリッパしていった。「これ誰や」「これ誰某や」、大勢集って互いに確かめ合う光景があった。一部の人がクラス編成と写真撮影の時差により写っていないことがあったことをお許しいただきたい。

バイキング形式で島状に置かれたテーブルで、ビール・清酒を酌み交し談笑は尽きることがない。時間は刻々過ぎ会場退去の時が迫り、その熱気を断ち切ることは耐え難い思いであった。いつまでもその儘でありたい気持ちに満たされた。その余熱は二次会に持ち込むことにし、近くのスナック酒場に場所を移すことにした。

スナックは一度、身体を沈めると動けなくなる程、我々が満杯になってしまった。話は所を代えて継続いた。のどに自信にある者はカラオケを歌い、こんなに上手だったのかと驚かされる人もあり、専ら聞き役にまわる人ありと様々。古希を控えているとは思えぬ程、話し、歌い、聞き入る面々、みんな互いに認め合い、許し合う融合した時間は過ぎて行く。中学の3年間、同じ時間を生き、学び遊んだそのことが、これ程まで

一体になれるものかと不思議な嬉しい気持ちを感じた。

スナック閉店も近づき、次回も健康で会えることを約してそれぞれ帰路についた。今回、来られなかった同級生が次回はきつと参加できることを願い、いつまでもみんな健康であることを願うばかりである。

(幹事) 中村直子、米川あさ子、濱口幸雄、若菜義彦、谷 洋明

■若草を覆つ塵

大森 生(桂歌)

(昭和26年高卒)

戦時私が小学生として国民学校と名を変えた時節は忠君愛国を強いられた誤つた史観を植えつけられ愛国心に染め上げられたのであった。

私は少年時代より国史は嫌いではなかったが小学高学年となって疑義が交錯したのを今もなお記憶している。

戦後六三制と教育基本法が制定され今年改訂され政府の改憲が急速に迫つて、またしてもいつか来た道を危惧しているのは私だけであらうか。

古代より歴史の底流には輪廻という因子が内在してその反復の帰結が時代を美化し形成して進歩するとすれば教育の国家管理が侵入してくるのは自明であろう。

家郷の実景に着眼すれば戦前戦後のモラルは失墜し私の散歩道の河川敷の下萌えは不法投棄で覆われていて哀しい。

時として奉仕で処理したが二年を経過すると嘲笑するように捨てられ徒勞と憤どおりが私達の心に残滓となつていく。

私自身他所で食した弁当の空き箱は袋に入れて持ち帰るのを実践している。

一人ひとりの心が共通の美意識を生み連鎖するのだと思料したいのだ。

過日市福祉センターで昼食の折りが洗って重ねてあるのを確認し高齢者のモラルの健在を嬉しく思ったのであった。

教育の再生で健全な道徳教育を推進する要があり遅きに失した必修科目を喜ぶたい。

美しい国や愛国心は自らの地域の美化から始動せねばならないし住む人々の郷土愛の集積から成り立つと考察したいのだが……。

と書いた直後啓発板が建てられた。

ゴミ捨て防止を祈っている。過疎化の進む家郷でゴミ処理をせねばならない。

■事務局だより

平成17年5月より高田学苑樹心同窓会のホームページを学苑ホームページに追加させていただきました。

連絡先の変更等はホームページの変更フォームからEメールからお知らせください。また、今後同窓会の報告などがありましては会員だよりに掲載させていただきますのでよろしくお願いたします。

その他、何かご意見等がございましたら左記メールアドレスへご連絡ください。

アドレス:
http://www.mie-takada-hi.ed.jp/
Eメール:
justin@mie-takada-hi.ed.jp

個人情報 収集した個人情報については適正な管理者のもとに適正な管理をすることで、常に個人情報保護に努めます。原則として第三者への提供や開示などはしません。

望月 光照 (S4 専門卒)	橋本 幸義 (S17)	泉 節子 (S31)
高藤 秀縁 (S7)	永田 清 (S18)	行方 寛明 (S37)
広田 正現 (S8)	上川 章 (S19)	前川 晃 (S37)
長岡 正道 (S9)	中辻 幸吉 (S19)	河野立次郎 (S38)
平田 範慧 (S10)	宮崎 繁 (S19)	大島 博子 (S38)
名草 光成 (S22)	吉岡 直 (S19)	高羅 輝樹 (S41)
今井 竹雄 (T13 旧中卒)	山川 行夫 (S22)	中西 和則 (S45)
青木五三郎 (T14)	吉川 勝 (S23)	岡本 行善 (S25 中3卒)
加藤 喜市 (S2)	堀江 篤男 (S24)	大河内 猛 (S32)
香月 啓成 (S5)	瓜田太美生 (S25 高校卒)	後藤 文憲 (S32)
水谷 武一 (S10)	黒田 鉄雄 (S26)	谷口 史朗 (S32)
佐藤 正義 (S10)	若林 次男 (S27)	福村 公宏 (S32)
北村 敏雄 (S11)	松本 政治 (S28)	堀内 浄 (S32)
川口 秀夫 (S12)	大藤 郁夫 (S31)	宮崎 修身 (S32)
草深 平 (S14)	竹村 宣重 (S31)	藤田 隼人 (S33)